

梅窓院通信

No.117
2022/03/01

青山



感謝の気持ちを大切に

住職挨拶

梅窓院第二十五世 中島 真成



令和四年のお正月は天候に恵まれたこと、そして新型コロナウイルスの感染症拡大も落ち着いていたこともあり、大変多くのご参拝とお墓参りをして頂きました。昨年よりも多くの皆様にお越し頂きましたこと、お寺の行事やご先祖様が眠るお墓を大切にされている証なのだと思います、住職としては嬉しい限りです。

さて、今年のお正月のご参拝とお墓参りの特徴は、祖父母とご一緒のご家族連れ、また親戚、同でお見え頂く、といった大人数でのお参りが多かったように思えます。そうしたご家族も含め、一家に一体ずつお配りしている梅窓院オリジナル絵馬に、今年はおかきを添えさせて頂きました。

また、ご参拝、お墓参りにお越し頂いた皆様お一人一人に温かいペットボトルのお茶をご用意させて頂きました。寒い中、お越し頂いたお身体が少しでも温まれば幸いに存じます。なお、昨年引き続き今年も感染症拡大防止を考慮して、お節料理とお雑煮の振る舞いは控えさせて頂きました。

さて、話は変わりますが三月の春彼岸法要は祖師堂にて皆様に着席して頂く形でご参拝頂くつもりであります。また、仏教講座、施餓鬼会、開山忌・能楽奉納、念仏と法話の会といった各種行事も従来通り、皆様にもご参列頂き行う予定であります。とはいえ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令された場合には、着席なしの焼香のみとさせて頂きます。その折はYouTubeでライブ配信を致します。なお、梅窓院ホームページで法要の最新情報をお知らせ致しますので、事前に確認頂ければ幸いです。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後に先日お届けさせて頂きました護寺費・年会費改定についてですが、梅窓院の維持管理にご理解を頂きますよう、重ねてご協力をお願い申し上げます。

春のよろこび

新宿区 香蓮寺住職

勝崎 裕彦

春

は青春、ほどよい暖かさともにも明るい新しい光り輝きに満ちた季節である。夢や希望もふくらみ、生きとし生けるものよるこびにあふれる。冬の寒さや冷たさからようやく解放された身心がやわらかく解きほぐされて、ものみなすべて弾むように軽い。私たちがだれかれとなく顔を見合わせて笑顔がこぼれ、なんとはなしに無性にうれしい、たのしい。ウイリアム・ワーズワースの「三月に記す」(Written in March)と云う詩に、

There's joy in the mountains;

There's life in the fountains;

Small clouds are sailing,

Blue sky prevailing;

The rain is over and gone!

(山にはよるこびがあり／泉にはいのちがあり／小さい雲が走り／青空は広がり／雨は止んで去って行く)

という一節がある。新しい成長と躍動の季節である春へのよるこびをきわめて明解に、率直に謳っている。

なにもかも明るくおだやかな暖か味のある春を、からだ中で感じ取り、こころいっぱい受けとめながら、春のよるこびを味わう俳句鑑賞をしてみたい。

春の山重なりゆききて富士となる

(越央子)

山笑ふうしるに富士の聳えつつ

(征良)

春の富士山の句である。虚子門・東大俳句会の大橋越央子は日本電信電話公社総裁などの重責を歴任した人。島谷征良の句の初五「山笑ふ」とは、

春の山の淡い緑に色づきうるむ明るさを、山そのものがよるこび笑うように感じとめる季語である。

春の水響を見せ流れて流れて

(洪亭)

春の川音も流れてをりにけり

(実花)

春の川水が水押し流れゆく

(秀雄)

雪解けの水も含んで新しい勢いに活気づく春水春江。洪沢洪亭は東京宝塚劇場会長など実業界にも足跡を残した随筆家俳人。快活に流れる川の水に、響を掬い取ってしまった句趣が冴えている。下田実花は山口誓子の妹でもあるが、新橋花柳界にあつて多くの句会句友に恵まれて、文章にもすぐれた人である。「音も流れて」の中七

がとてもよい。松瀬青々門の古屋秀雄の句も「水が水押し」の中七がよく効いていて、春の水の流れの力強い息吹きが伝わってくる。

春の雲ながめてをればうごきけり(草城)

春の雲煩惱心に湧くたのし

(臥牛)

日野草城は「超季」を提唱し、季語よりも詩性に重きを置く新興俳句を進めた人である。「十七音の詩が俳句である」と主張した草城句の躍如たるものがこの句にも示されている。独文学者の道部臥牛の句は、「煩惱心」という仏教語をもつて春の白雲のふわりと湧き浮かんださまを写し取っている。

春の空人仰ぎある我も見

(虚子)

春の空円しと眺めまはし見る

(立子)

最後は、高浜虚子と星野立子の父娘の二句に導かれて、春の空をはるかに仰ぎ見て、遠く大きくまろやかに眺めたい。

さて心温かい春の訪れを迎えて、日明かし、日暮らしの生活の仕方の折り目・区切り目となるのが彼岸時分の時候の節目ということになる。春分の日をお彼岸行事の中心、お中日と定めて、心の持ち方から立ち居振舞いのあり方まで気を怠りなく配りながら、身の安静と修養の期間としたのが仏教儀礼の伝承の基本精神である。春季彼岸会の頃、改めて春のよるこびを私たちみんなでともどもに分ち合いたい。

(大正大学名誉教授)

一月の行事報告

修正会 一月二日(土)



今年で13回目の修正会法要。鏡餅や門松も飾られて賑やかなお正月でした。



春彼岸法要

午後1時～
地下2階 祖師堂

春彼岸法要

三月二十日(月)

令和4年春彼岸法要はお席をご用意し、法要中はご着席頂ける予定でございます。
宜しければ祖師堂へお参り下さい。

東京都に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が発出された場合

法要会場を2階本堂に変更し、法要の様子をライブ配信予定です。
お席のご用意はございませんが、お焼香頂けますので、宜しければ本堂へお参り下さい。
お塔婆につきましては、法要後に僧侶にて建てさせていただきます。
最新情報は梅窓院ホームページをご覧ください。
<https://www.baisouin.or.jp/>



梅窓院ホームページの
QRコード

塔婆申込み方法

同封のはがきを使い**3月10日(木)必着**でお申込み下さい。
塔婆回向料は**1本7,000円**とさせていただきます。

お支払い方法

同封の振込用紙で**郵便局**にてお支払い頂くか、**当院受付**までお持ち下さい。
(銀行でのお振込みはできません。)

お檀家様へお願い

- 寺院内ではマスクの着用、手指の消毒にご協力をお願い致します。皆様に安心してご参列頂けるようワクチンの接種をされた上でご来寺頂ければ幸いです。
- お彼岸前後の土・日・祝日はお参りに来られる方で境内が大変混み合います。ご来寺の際は感染症対策をした上で電車等、公共交通機関をご利用下さい。
- 3月18日～24日まで、境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせていただきます。ご協力お願い致します。

春彼岸会によせて

お経のお言葉④「神明記識」(『無量寿経』下巻)中編
「お経に説かれる悪(五悪段)」

段々と暖かくなってきました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、早速ですが前回の「神明記識」(『無量寿経』下巻)五悪段の一悪、二悪に続き、三悪と四悪の解説をさせていただきます。大変恐縮ですが、新年号の本稿を改めてご覧いただければ幸いです。

第三悪 邪淫(パートナー以外との性的な行為)の悪

世間には人々が身を寄せ合って生きているが、その中に悪い人がいて、常に淫らな思いに身を駆られ、愛欲に溺れて、居ても立っても居られない。好みの相手を目で追って、自分では盗み見しているつもりでも、邪な有様がだだ洩れになっていく。自分の妻を厭い憎しんで、ひそかに愛人に入れ揚げ、家財を失っては非法行為に手を染める。悪人達は徒党を組んで抗争し、殺戮略奪の限りを尽くす。

第四悪 言葉による悪(二枚舌、悪口、虚言、へつらい)

世間の人々は善を修めようと思わずに、むしろともに悪事を教え合う。二枚舌、悪口、虚言、へつらいなど言葉で悪の限りを尽くす。人をそしり、仲たがいさせ、善人を見ては嫉妬し、賢明な人を陥れ、陰で人の不幸を喜ぶ。両親に孝行せず、目上の人を敬わず、友人に信用もなく、誠実さのかけらもない。偉ぶって、我が道を行くといって憚らず、他人に横柄な態度で迫り、その人の権利を侵害することもある。しかもそんな自分には気がつきもしないで、悪を恥じることもない。強引に押すことで、相手に引き下がることは難しい。

本稿では第四悪までとさせていただきます、施餓鬼号へ続きます。

さて、春季彼岸会の大法要が近づいて参りました。ご一緒にお念仏いただけますと幸いです。

(副住職 中島貞紹)

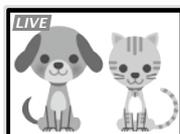
合掌

令和4年 春のペット慰霊法要のお知らせ

梅窓院僧侶がご供養を勤めます。ぜひご参列下さい。なお、感染状況によってはライブ配信に切り替える可能性もございますので、予めご了承下さい。

午前11時～ 2階 本堂

主催：株式会社ジャパンエキスパートシステム



春彼岸とは

お彼岸は中日をはさむ前後3日間で、合わせて1週間の行事です。お墓参りの善行とともに修行する期間でもありますので、ご自宅でご先祖様の供養を願って写経するのはいかがでしょうか。今号の4・5面で写経の特集を掲載しております。

自宅^でできる 初めての写経

一昨年からのコロナ禍で、ご自宅にいる時間が長くなられ、以前は当たり前に行っていたことが現在では出来なくなっていることが少なくありません。仏教の教えは、こうした時に心の平静を保ったり、自分自身を見つめ直す良い機会を与えてくれます。

私たち浄土宗の修行はお念仏を称えることですが、ご詠歌と写経を、念仏を称えるための手助けとなる修行、と位置づけています。そこで今号では、ご自宅で手軽にできる写経をご紹介します。お家時間を過ごす中で、写経を始めてみてはいかがでしょうか。

写経の歴史

奈良時代、仏教が栄え、その教えを広めるための国家事業として写経は始まりました。その後、時代とともに亡き人の供養や個人的なお願い事を叶えるためのものに変化しました。

今ではパソコンやスマートフォンが普及しましたので、字を写すどころか、字を書かない時代になってしまいました。ですが、心を落ち着けて一心に、一文字一文字を丁寧に写すことで仏様を敬い、同時に穏やかな心持ちで、自分の思いを込める写経は、今多くの方に注目されています。

字を書くのは苦手、と尻込みされる方もいらっしゃるかと思いますが、写経は字の上手い下手、書くのが早い遅いは関係ありません。為書^{ためかき}という、写経する目的を心に留めながら、自分のペースで書くことが大切なのです。

お手本は「祝聖文」しゆくしやうもん

写経といえば「般若心経」が一般的ですが、今回は「祝聖文」というお経のお手本を梅窓院受付にご用意致しました。ご希望の方はお気軽にお声がけ下さい。

「祝聖文」は、お正月などに読むお経で、

世の中が平和で、月日も清く輝き、雨風も時に応じ、様々な禍がおきず、国が富み人々が安心し、武器を使うことなく、徳や仁が満ち溢れ、礼儀正しい世になりますように。

という願いが込められています。温暖化、世界各地での紛争、新型コロナウイルス感染症拡大に悩まされる今ならではののお経と言えます。

それでは早速実際に写経を行う際の作法や書き方、納め方をご説明致しますが、今回はご自宅でも簡単に始められるように、できるだけ手軽にできる方法をご紹介します。

写経の流れ

準備するもの

- ・お手本
- ・半紙
- ・クリップ
- ・筆ペン

お手本の写経の上に半紙を合わせ、クリップで留めます。

作法

- ① 手を洗い、口をそそぎます。
- ② 静かに着座し心を落ち着けます。
※椅子・正座のどちらでも構いません。
- ③ 合掌して十念、南無阿弥陀仏を十回称えます。
- ④ 写経に込める願い事を決めます。その願い事が為書です。
- ⑤ 心静かに書き始めます。
※経名きやうめいから始めて最後の名前まで書きます。一字一字を丁寧に写します。
- ⑥ 書き終えたら筆を置き、願い事を心に思い起こします。
- ⑦ 合掌して十念します。
※お手本は繰り返しお使い下さい。

写経の納め方

写し終えたお経(半紙のみ)を仏壇に供えるか、後日梅窓院にお納め下さい。

写経の書き方

経名から書き始め、
為書には先祖供養や願い事を、
浄書じやうしょには写経された日付を、
願主がんぬしにはご自身の名前を書きます。

《為書の例》

- 〇〇家先祖代々諸精霊追善増上菩提
- 〇〇(戒名)霊位追善増幅菩提

世界平和	五穀豊穰
家内安全	家庭円満
夫婦円満	親子円満
良縁吉祥	子宝祈願
安産祈願	学業成就
合格祈願	就職成就
身体健全	心身健全
健康長寿	無病息災
病気平癒	疫病退散
交通安全	旅行安全
除災招福	厄除開運
財福円満	商売繁盛
千客万来	事業繁荣
心眼成就	

祝聖文

天下和順 日月清明
風雨以時 災厲不起
国豊民安 兵戈無用
崇徳興仁 務修礼讓
南無阿弥陀佛

為 無病息災
浄書 令和四年三月一日
願主 青山うめ子

椅子でも正座でもどちらでも構いません。

全国的に有名な郡上おどりや「続日本100名城」で郡上八幡城が選ばれるなど、岐阜県の代表的な観光地として名を馳せている郡上八幡は青山家の故郷です。

今回は春彼岸期間中に観音堂で物産展を行うなど、梅窓院との交流が盛んな町、郡上八幡を訪れました。

◆本日はよろしくお願ひ致します。

事務局長(以下) ご無沙汰しております。皆さんはお変わりありませんでしょうか。

◆はい、お気遣い頂きありがとうございます。郡上八幡の皆様はいかがでしょう。

お陰様で元気ですが、コロナで2年間も郡上おどりが開催できず、町の観光産業は大きな影響を受けています。

◆大変ですね。郡上おどりに毎年30万人もの観光客が訪れていたと聞いていますから。

郡上八幡は1年を通して様々なイベントを行っています。1月は以前『青山』(No.87春彼岸号)でも取り上げて頂いた鯉のぼりの寒ざらし、4月は大神楽や子供みこしコンクールが見どころの春まつり。5月から6月には郡上おどりの事前キャンペーンを京都・御池御幸と東京・青山で開催しています。そして7月から9月上旬まで、日本一長い盆踊りである郡上おどりをを行います。11月には郡上八幡城と庭園をライトアップするもみじ祭りをお楽しみ頂けます。

◆休みなしにイベントが続きますね。

はい、四季折々のイベントが目白押しですが、3ヶ月に亘る郡上おどりは日本三大盆踊りのひとつにも数えられ、郡上八幡の顔、ですね。



着物姿で優しく微笑む事務局長。郡上八幡の魅力を余すところなく教えてくれました。



郡上八幡のシンボル、宗祇水前で仲睦まじい中島住職と事務局長。

◆郡上おどりは3ヶ月に亘る大きな行事なのですね。

コロナ禍に見舞われる中、観光協会はどのような様子でしたか。

PRもできず、観光客も呼べない。観光業は人が関わる仕事ですから、全くお手上げ状態なんとも苦しい時間でした。郡上八幡はリピーター客が多いこともあり、人に会いに行ったり、出会った人を再訪するのが楽しみなところですから余計です。

◆確かにそうですね。

梅窓院も長くお付き合いさせて頂いています。

ありがたいご縁です。

◆さんと梅窓院のご縁のきっかけを教えてくださいませんか。

平成6年に外苑前商店街が町おこしとして郡上おどりを企画され、会場を梅窓院さんをお願いしようということになり、中島住職とお会いしたのが、きっかけになります。

◆もう30年近いのですね。平成21年からは春彼岸期間に観音堂で物産展も始まりましたね。

はい、おかげさまで郡上八幡の名産品を青山の皆様知って頂き、とてもありがたいです。

※現在、春彼岸物産展は中止しております。

◆さきほど、郡上八幡を訪れる方は、リピーターが多いと伺いましたが、その理由は何でしょうか。

はい、都会育ちの方からよく伺うのは、ここが故郷のような気がします、という言葉です。

◆故郷ですか。

郡上の魅力は「水」と「城」ですが、町全体に流れる爽やかな風、土地が醸し出す雰囲気がか心地良いようです。元々が宿場町で人情味の溢れる土地柄ではありますが、故郷だったら良いのに、という気持ちになられるのではないのでしょうか。

◆たしかに町を歩いて地元の方と触れ合うと、どこか懐かしい気持ちになってきますね。

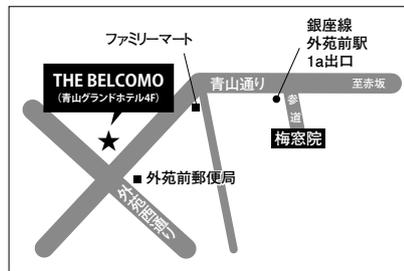
今日はお忙しい中、ありがとうございました。

充実している観光協会のホームページはこちらのQRコードから。
<http://www.gujohachiman.com/kanko/>



今回は梅窓院から歩いておよそ3分、青山グランドホテルの4階にあるオールデイダイニング「THE BELCOMO」をご紹介します。

近隣からも親しまれるように、かつて外苑前のシンボルだった「青山ベルコムズ」の愛称から店名を名付け、店内もビンテージ風の重厚感あるお洒落な空間が広がっています。また、オーブンキッチン・パークウンターといった開放的で賑やかな一面もあり、老若男女問わず活躍の魅力的なレストランとなっています。ここでは朝から夜までアジア・イタリアン・フレンチテイストなど世界中の美味しい料理を楽しむことができます。また季節ごとにメニューが変わるのも注目ポイントです。お



営業時間／モーニング 7:30~10:30
ランチ 11:00~15:00
ディナー 17:00~22:00
定休日／なし 席数／170席
住所／東京都港区北青山2-14-4
青山グランドホテル4F
TEL／03-6271-5429



お席はテラス席・室内席・個室をご利用頂けます。
※個室利用料は店舗までお問い合わせ下さい。

濃厚なソースが絶品の雲丹のクリームソース スパゲッティニ

2,300円



ココナッツミルクの甘さとエビの出汁、独特な香辛料がいたココのあるシンガポールラクサ エビとココナッツのスパイスヌードル

1,700円

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、店舗の営業時間の変更となる場合がございます。最新情報は店舗まで直接お問い合わせ下さい。

お客様全員に喜んでもらえるようシェフらが四季折々の素材を厳選し、一番味が引き立つメニューを考案しているの、一年を通して何度でも足を運びたくなるのではないのでしょうか。家族や友人とアラカルトを少しずつ分け合つて色々な国の料理を堪能したり、コースを注文してゆっくりと料理を味わうなどシチュエーションに合った食べ方ができる「THE BELCOMO」。法要後やお参りをした際に、春の暖かい風を感じながら「世界中の美味しい」が集うこの場所へ立ち寄るのはいかがでしょうか。

飲食店を経営されている皆様へ

「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。詳しくは8面をご覧ください。

青山俳壇

選者「ウエッパ俳句通信」編集長

大崎 紀夫

◎特選

○ろうそくの揺れるともしびクリスマス

◎入選

- 小春日の海は万象光らせて
- 除夜の鐘夜を切り裂いて鳴り響く
- 布団から出られぬ季節やってきた
- 空あおし凍えし手と手温める
- 野水仙鳴門の海を越えて島
- 湯けむりや膝の痛さへ冬日当て
- お昼どき居間の奥まで冬日差し
- 寝ころんでゐる人もあて日向ぼこ
- 夕暮れの冬田の先に犬のこゑ

◎選者詠

○冬早「あれ」といふ間のつむじ風 大崎 紀夫

◎ワンポイントアドバイス

俳句は文語で、という俳人はまだかなりいますが、わたしは文語でも口語でも作者の感覚に合う詠み方でやっています。わたしの句はおおむね文語ですが、ときに口語調で詠むことがあります。口語俳句といえは池田澄子さんが有名で、へじゃんけんに負けて蛭に生まれたいのへちまよと古いけど風邪薬ですどうぞとといった句はわたしは大好きです。

投句募集

今回は「春の季語」で自由にお詠み下さい。4月5日を締切、2022年6月発送の『お盆号』にて発表致します。郵送・FAX・メールのいずれかの方法で、ご応募下さい。尚、選者が添削し掲載する場合がございますのでご了承下さい。皆さまの投句をお待ちしております。
〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係
FAX:03-3404-8436(青山文化村)
メール:bunkamura@baisouin.or.jp

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエッパ編集室
電話03-5368-1870

第八十六回 食は命

女性の味方

「菜の花」

武鈴子 食養研究家

菜の花畠に 入日薄れ 見わたす山の端 霞ふかし……、高野辰之作の「朧月夜」の初めに詠まれる菜の花、黄色い花が春の陽ざしを浴びて輝く景色を眺めていると、蝶々なみにこちらの気持ちもうきまきしてきます。

野菜の中でも栄養価の高い菜の花は、豊富なカルシウムがストレスを和らげ、ビタミンCはほうれん草の4倍、カロテンはピーマンの5倍もあり、美肌効果も抜群。またビタミンB2、カリウム、鉄などもたっぷり含まれていて、抵抗力を高め、風邪などの感染症を予防し、高血圧、動脈硬化、貧血を予防します。やわらかく、クセがないので、おひたしや和え物にしますが、酢を加えたおひたしは整腸作用があり、大腸がんを予防するともいわれます。

東洋医学では、春は「血のさわぐ季節」といわれ、気温の上昇にともなって、血の流れもうわずって上半身に滞りやすくなります。菜の花はこの春先の血のトラブルを防ぐ働きがあり、春に不安定になりやすい肝機能を整えて、のぼせやめまい、イライラを抑える働きもあります。

3月3日の「桃の節句」の行事食はちらし寿司。このちらし寿司にさっとゆがいた菜の花の蕾を添えると、彩も美しく華やかになります。また、紅ショウガ、梅干し、海苔などを加えれば薬膳的にも五味調和が整い、女性にとってはありがたい薬効を秘めた、桃の節句にふさわしい祝い膳になります。

令和4年度 前期 仏教講座のご案内

梅窓院では4名の先生をお迎えして4月より「令和4年度 前期 仏教講座」を2年ぶりに再開致します。どうぞお気軽にご参加下さい。
※詳しくは別紙チラシをご覧ください。

行事予定

春彼岸会法要

3月21日(月)
法要 午後1時～
地下2階 祖師堂
※詳細は3面をご覧ください。

はなまつり

4月2日(土)～8日(金)
2階 本堂
お釈迦様の誕生日をお祝いする「はなまつり」。2階本堂エントランスに花御堂がございます。皆様どうぞご参拝下さい。
※休憩所に甘茶をご用意する予定です。



大施餓鬼会法要

5月21日(土)
※詳細は施餓鬼号にてお知らせ致します。

開山忌法要・能楽奉納

6月11日(土)
※詳細は施餓鬼号にてお知らせ致します。

第80回 念仏と法話の会

6月28日(火)
講師:長野 正念寺住職
奥寺浩司上人
※詳細は施餓鬼号同封チラシにてお知らせ致します。

梅窓院よりお知らせ

護寺費・年会費の改定のお願い

前号の梅窓院通信(新年号)では、護寺費・年会費改定のお願いを同封させて頂きました。護寺費・年会費の改定につきまして、誠に心苦しい限りですが重ねてご理解とご協力のほどお願い申し上げます。寺院運営の外的、内的環境も変化し、健全性と持続性を保つための御助力を頂ければ幸甚です。

梅窓院のお墓とペット供養の窓口

ジャパンエキスパートシステム 墓苑事業部からのお知らせ

ペットを飼われている方々には有名な「虹の橋」という詩があります。40年前に作られ、天国に続く虹の橋のもとで先だったペットたちが飼い主を待っていて、飼い主と再会して一緒に橋を渡るという詩です。仏教ですから、天国ではなく浄土になりますが、家族同様のペットを亡くされた方には励まされる詩です。

以前、お檀家様とお互いのペットが亡くなったときの話をされていて思わずもらい泣きをしてしまったら逆に慰められたことがあり懐かしい思い出です。その節はありがとうございました。梅窓院には無礙光塔というペットのお墓がございます。梅窓院に入る車道は何気にワンコ達のお散歩ロードになっています。散歩中のワンコが掲示されているプレートをじっと見ていたときはちょっと面白かったです。もしかしたら散歩仲間だったお友達を見つけたのかもしれませんが。

さて、コロナ禍になって墓石洗い、代参の依頼が増えています。できるだけご希望に添うようにさせて頂いておりますが直前の依頼の時にはご希望に添えない場合もございます。お早目にご依頼ください。

(墓苑部:森)

お申込み・お問い合わせ 梅窓院墓苑電話:03-3404-1230 E-mail:info@expert.co.jp

お檀家さんに伺いました

令和3年 十夜法要にて

『ご僧侶の温かい言葉に救われました』

都心とは思えない参道の世界観がとても魅力的でご縁を感じました。駅から近いのでお参りもしやすいです。法話を聞きたくて予定が合えば毎回行事には参加するようにしています。ご僧侶のお話を聞くことは勉強になり、考えさせられます。母を亡くした当時はご僧侶の温かいお言葉に本当に救われました。これからも行事に参加していきたいと思っております。

飲食店を経営されているお檀家様へ

年4回掲載の「青山散歩道」コーナーにて掲載にご協力頂ける飲食店を募集しております。檀信徒様で、掲載希望の方、取材・インタビューにご協力頂ける方がいらっしゃいましたら、梅窓院受付もしくは下記の連絡先までご一報下さい。

〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38 梅窓院青山文化村
TEL:03-3404-8588 FAX:03-3404-8436 E-mail:bunkamura@baisouin.or.jp

発行 梅窓院
発行日 令和4年3月1日
発行人 中島 真成
編集 青山文化村
住所 〒107-0062
東京都港区南青山2-26-38
電話 03-3404-8447
FAX 03-3404-8107
ホームページ <https://www.baisouin.or.jp/>
E-Mail jodo@baisouin.or.jp
題字 中村康隆元浄土門主
総本山知恩院第八十六世門跡